

あすなろ通信 29号

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ

事務局：〒728-0006 三次市島敷町3 6 番7

TEL0824-55-6301 Fax55-6302 発行日 2016 年 8 月 1 日

道は必ず

どこかに続く

日野原 重明

頑張れ 生徒たち！

あすなろ塾 講師 影山 克典



今年のあすなろ塾は大きく変わってのスタートとなりました。講師陣を総入れ替えし、三〇人程度いた塾生を二〇人に、授業は二階のみとするなど、生徒たちにとっては戸惑いの中でのスタートだったと思います。私自身も、塾に勤務することも、中学生を相手に数学を教えることも、すべて初めてという中でスタートでした。

学力的には様々な生徒がいるということは十分わかって始めたつもりです。しかし、塾すなわち自ら望んで勉強をするために来ている場の生徒において、集中力が続かない、わ

からなくても質問しない、与えられた課題をやってしまうとそれ以上やろうとしないといった、勉強に対する後ろ向きな姿勢がここまではつきり現れることに大変困りました。もしかしたらこの生徒たちは塾には来さされている部分が強い 全くないとは思っていませんが）のか」と考えたこともありました。勉強に対する後ろ向きな姿勢の克服こそが、学力の伸長を果たす重要なポイントになることはわかっています、何をどのようにするればこれらのことが克服できるのかについては、今も暗中模索の状態です。

そのような中、先日、生徒にあすなろ塾について、一人ひとりに作文を書かせました。書かせてみて、とてもよかったと考えています。生徒は私たち講師陣以上に、それぞれの生活の中で、いろいろなことに悩み、そして頑張ろうとしていることがよくわかりました。その作文の一部を掲載します。

やりたくない

一年生

とにかく今やりたくないことがあります。それは部活と数学と英語です。なぜ部活をやりたいくないのかは、暑い、めんどい…中略…次に数学と英語。とにかくこの二つはやばい。悪い点をテストでとるのは目に見えています。

なので私は塾に通っています。それはあすなろ塾です。そこでは数学と英語を専門にしています。…中略…私ははじめ通っていたと

きは「めんどくさいな」と思っていました。正直に言うとも今も思っています。だけど、ずっと思っているにも変わりません。…中略…どこかのテレビで言っていました。

「やなことそのままだにしてあげば、人は必ずそのくりかえしをする。」と。

私もそうだと思います。そんなつらい思いをするより、最後までやりきった方がいいと思います。だから、私は最後までやりきる。めんどくさい、やりたくないと考えていても。

あすなろ塾での勉強

二年生

私は、あすなろ塾での勉強はこれまでの塾よりもわかりやすく、来るのが苦になりません。なぜなら、今までの私は勉強嫌い、この新しいあすなろ塾に入るまでは、数学は全然できなくて、大嫌いでした。…中略…

でも今は、わからなかったら先生が教えてくれるし、一個一個説明してくれるのでとてもわかるようになりました。今までも英語はできていたけど、さらにできるようになりました。学年があがるにつれて、勉強も難しくなっていくけれど、今まで以上にがんばって学んでいきたいです。そして、三年生になっても後悔しないように、塾でたくさん学んで、志望校に入学できるように精一杯努力したいです。



あすなろ塾で成長

三年生

私は、あすなろ塾でとても成長したと思います。一年生の時の私にとつての勉強は「めんどくさい」「やる気なし」と、先のことなど一つも考えていませんでした。そのため、授業態度も悪く、成績も思っていたとおり悪いものでした。

学校の三者懇が終わって、あまりにも悪かった私の成績を見た母に「このままだと、後悔するよ。」と言われましたが、私は「まだ一年生だし大丈夫」と思っていました。

そして二年生になり、高校訪問や職場体験が始まり、進路のことについて考えることが増えて、だんだん自分にあせりができて、高校に行くために頑張ろうと誓いました。しかし、頑張りたい自分はいるのに周りに流され、すぐあきらめてしまいました。あきらめることが続いて、二年生の二学期になり、一年生の時には「絶対塾なんか入らない」と思っていた自分が、自然と「塾に入っ

て勉強したい」と思うようになり母に相談しました。すると母は、喜んで賛成してくれ、このあすなろ塾に入らせてもらいました。

入ったては、なれない時間勉強することは、とても大変で辛かったです。でも、学校でわからなかったところを塾の先生に聞くとわかりやすく教えてくださり、理解ができて数学が楽しくなり、本気で頑張ろうと思いました。その思いで勉強しテストに取り組んだら、今までとったことのない点数がとれ、低かった成績も上がって、先生にも母にもほめられ、とてもうれしかったです。

そして三年になり、訳あって塾が少し変わり、自分を変えてくれた先生と別れることになりとても悲しかったです。

塾が新しくなり大きく変わりました。はじめは不安だったけど、楽しく授業ができて、塾が楽しみになりました。一年生の時の自分と今の自分をくらべると、とても成長したと思います。

今の自分がいるのは、支えてくれた母と、勉強の楽しさに気づかせてくれた先生たちのおかげだと思っています。

私も…君たちも…

生徒たちの作文を読んですみすと、あすなろ塾の生徒たちには「やる気」は十分に備わっていることがよくわかります。ただそれが「わからない」ことで潜在的になったり、持続性を失ったりすることがあると思っています。

社会の中に「できる・できない」で、あたかも人間的価値が決まるかのような意識が存在することは事実です。そのため生徒たちは誇りが傷つけられることもあると思います。これは社会の責任です。しかしそのことによって自らが勉強する意欲を失ってしまうことは自分の責任部分だと考えなければなりません。

そのような思いの中で、私のキリキリした状態はこれからもしばらく続くとは思いますが、あらためて生徒の切ないばかりの「やる気」に接することができて元気がわいています。私自身も「やる気」を減退させず、頑張っていきたいと思っています。

生徒も頑張れ！ 影山



努力の上に花が咲く

元氣教室主任

四車

ユキコ



今年、元氣教室が使っているファイルの表紙です。教室の子どもたちがプリントを綴るたびに自分に「努力の上に花が咲く」と自分に言い聞かせて

てくればと願っています。

元氣教室は居場所と学力向上を目指しています。社会生活への対応を目指す二人の生徒と、学力向上を目指す五名の小学生がいます。指導者は私と県大生ですが、ボランティアで関家水濱先生が歌の指導に来てくださっています。昨年度の卒業生も原稿を寄せてくれましたので一緒に掲載します。

あいさつが一番

卒業生 堅原 香澄

こんにちは！私は昨年卒業した堅原香澄です。地元

の介護施設で働いています。介護の基本研修を申し込みましたが、希望者が多く、デイサービスのレクレーションや音楽・体操の研修にかかりました。

すぐ役立つ研修だったので良かったです。利用者様の前で体操をするのもなれましたが、大きな声がなかなか出ません。はやく皆さんと一緒に楽しく仕事ができるようになりたいです。

そのために、三年間は頑張って資格を取り仕事を続けたいと考えています。 (三ページへ続く)

私は自動車学校に行ったので、早く免許が取れてよかったです。みなさんが、今、できるように頑張っておけばいいと思うことは あいさつ です。教えてくださった人やどんな人にも感謝の気持ちを大切に、あいさつをしたいです。もう一つはいろんな人との出会いを大切にすることです。

私もこの仕事をがんばります。みなさんも社会に出て働く力をつけるように頑張ってください。

川はたのしい 高三 大畠さやか

塾に入ったのは友達にさそわれたからです。最初はなれなくて大きな声であいさつができませんでした。今ではできるようになりました。生徒会の役員にも立候補して頑張っています。今は社会に出たら一番必要なパソコンや運転免許の学習を、少しずつがしています。

あすなろではいろいろな行事もします。七月二十三日には三江線に乗って作木町の蓮光寺のサマースクールに元気教室の生徒は参加しました。石磨きや、アユの すにぎり などをしました。石磨きをするに泥が取れて、新しい苔が つきます。その苔をたべてアユが大きくなるのだそうです。環境にもいいことだと思いました。行事をすると、いろんな人と触れ合えるので、参加してよかったと思います。元気教室では一番年上なのでみんなの前で話すことがよくあります。難しいですが、覚えて言うようにしています。

きちんとあいさ

つができるね」 見

送りしてくれてありがとう」と言われるとうれしいです。



大好きなサッカー 六年 吉川 東輝

ぼくはあすなろ二年目です。今日は好きなサッカーについて書きます。可部運動公園で試合がありました。六チームに分かれて全チームと試合をしました。最初に戦ったチームはとても強くて、四対〇で負けました。悔しかったです。次に白チームと戦っても二対一で負けました。悔しかったです。そして、次に戦ったチームはみどりです。みどりは攻めるのはうまくないけど、パスが上手でした。ぼくはゴールキーパーを頑張りました。真正面から飛んできたボールを両手ではじきました。

ナイス！」

ナイス、ゴールキーパー！」

前に出る！」



とたくさんの人に応援してもらいました。ぼくはうれしくなって最後までがんばりました。次は二点ゴールを決めたいです。

ほとぎは大人気 四年 野田七緒

ほとぎを塾で作って、持って帰りました。昼ごはんのあと、家族全員で食べました。おいしいね」と言って食べました。お母さんとおばあちゃんはいっくらかえてみたり、手にのせて見たりいろいろやっていました。

おばあちゃんは 中に何が入っているんじゃないの？」 節約のひなあられや、ピーナツやいろいろあるね。今度作り方を教えて」といいました。ほとぎは家族に大人気でした。

料理を作ったよ 四年 西 美咲

五月二十八日 土) にほとぎを作りました。始めてでしたが、油を使うところは大人の人がしました。難しかったのはキッチンペーパーで油をと

るところでした。強く握ってやるとぼろぼろになってしまうので、気をつけてしました。今度はひな祭りのころにやりたいです。

河川功労賞 おめでどうございませう！



色紙にお祝いの寄せ書きをしたのですが、紙面の都合で活字にしました。 (西車)

・河川功労賞おめでどうございませう。機会があれば、社会の勉強を教えてください。 (織田) ・いつも笑顔で話しかけてくださり楽しいです。 (大畠) ・ぼくも嬉しです。長生きしてください。 (吉川) ・私は黒田先生のことを自まんに思っています。 (西) ・おめでどうございませう。これからもよろしくお願いします。 (原) ・川のことや、うかいのことを教えてください。 (七緒) ・東京へ行く予定だったのに、あすなろを優先してくれてありがとう。 (大畠) ・騎馬之勢」ぼつぼつスピードをゆるめては (西車) ・頑張られるのはよいけれど、年令を考えて休み休みに (関家) ・河川功労賞は遅いくらい。休みもたいせつですよ。 (高田)

中3の夏休み一高校受験モードへ三つのススメー

中国新聞7月23日(土) 暮らし欄参考

夏休みで部活を引退する中3生は多いと思う。受験に向けて気持ちの切り替えが必要な時期。これまで部活に注いでいた力を勉強に向け、学力がぐんと伸びる生徒は多い。次の三点、暑い夏を有意義に過ごす参考に。

その1 志望校を決める ○○高校に合格する

夏休み以降、多くの高校で開かれるオープンスクールや学校説明会に参加するといひ。行きたい高校が定まると、自分がどの程度勉強をすればいいか明確になる。模擬テストの範囲が決まると、それを目安にして少しでも得点を上げることが次の勉強につながる。

その2 計画実行 勉強のスケジュールを作成

できれば塾で授業のない理科・社会は問題集を使って復習する。あまりページ数の多くないものを選び、一日何ページやればいいのかの目安を立てる。計画的に取組めば同じ一時間でも、集中してやれるし、こなせる量も多くなる。量は自信にもつながり、やる気がアップする。

その3 勉強のこつを知る

自分流の勉強スタイル(パターン)を決める。例えば十五分間で、英単語や歴史年表を10個覚える。計算問題を十問解く」など。

切り替えのスイッチをうまく入れることにより、集中力を高めることが出来る。暗記ものは覚えたかどうかのチェックが必要。最近では理科や社会など記述問題がよく出ている。めんどくがらずに、説明できるようにノートに書いて練習する。

まだ十分間に合う。夏休みが踏ん張りどころだ」

岩

＊七月二十三日(土)、里山学びネットワーク事業「蓮光寺お寺スクール」に、元気教室の生徒・保護者が参加しました。具体的な内容については次号で特集の予定ですが、大変楽しく有意義な一日でした。副住職の桑名哲英さんが先頭にたって大活躍。企画をされたあすなろの瀬川政博理事さんの完璧な準備。かっぱ道場作木の役員さんたちが指導してくださったアユの素握りに子どもたちは大満足でした。

河川清掃は二歳の幼児から高校生・高齢者まで参加。川がキラキラ、子どももキラキラ、カイツブリはスイスイ。蓮光寺さん、漁協の役員さん、瀬川理事さん、引率の四車先生、参加された皆さん、感動の一日をありがとうございました。そして、自然の素晴らしさを教えてくれた「天神川さん」ありがとうございました。

＊七月に入って、昭和ヒトケタ最後の著名人たちの訃報が続きました。永六輔さん、大橋巨泉さん。二十数年前、総領小学校に勤めていたとき、和田芳治さんたちと一緒に総領読本を編集しました。永六輔さんから「君が輝けば総領も」のメッセージをハガキでいただきました。現在の元気教室のテーマソングは奇しくも、永さん作詞、九ちゃん歌の「土を向いて歩こう」です。和田さんが発行している幸学研究所の「私の恋文」最新号に永さんの言葉が載せてありました。

生きているということは

誰かに借りをつくること

生きてゆくというこは

その借りを返してゆくこと

永六輔

＊私も巨泉さんや六輔さんと同年齢。小沢昭一さん、野坂昭如さんも然り。共通しているのは、小学校六年までは徹底した軍国教育、六年生の八月十五日から一転して民主教育。旧制中学校最後の入学生等々で、大変革の時代に少年期を過ごしたということです。新聞の訃報に「ひと癖ある生き方、破天荒な生き方」という見出しに私は心ひそかにうなずきました。

同世代といえ、天皇も昭和ヒトケタ最後の昭和八年十二月二十三日生れ。生前退位」が報じられています。

＊あすなろを設立して六年が過ぎようとしています。ここ二・三年前から、学力格差と貧困の問題はメディアからの情報発信も多くなりました、おかげで、三次市議会の一般質問にもとりあげられるようになりましたが、残念ながら議論は深まりません。

あすなろを訪ねてくる子どもたちに接する限りでは、学力格差は拡大と固定化」(進んでいると言わざるを得ません。

私に何が出来るか、学校や地域や民間団体が一緒にあって、こうした子どもたちのことを考える場をどうつくり出していけばいいのか」を問い続ける日々です。

ぐろだあきのり